

第1回 大垣市次世代育成支援行動計画策定評価委員会 会議録

日 時 平成21年7月6日(月)

13:30~15:00

場 所 市役所3階 合同委員会室

1. 会議次第

(1) 委員委嘱

(2) 委員紹介

- (3) 議題
- ① 委員長及び副委員長の選出
  - ② 大垣市子育て基本条例(仮称)について
  - ③ ニーズ調査の結果について
  - ④ 今後の予定について

2. 出欠席等の状況

(1) 出席委員: 11名(敬称略)

所 属	職 名	氏 名
岐阜経済大学	経営学部教授	竹内 治彦
大垣女子短期大学	図書館長兼教育センター長	矢田貝 真一
大垣市医師会	会長	山川 隆司
大垣市子ども会育成連絡協議会	書記	三代 広子
大垣民間保育園連合会	(きど保育園園長)	安田 民代
大垣私立幼稚園連合会	(大垣幼稚園主事)	岩田 和行
大垣市PTA連合会	母親代表	長瀬 ちえ子
NPO法人くすくす	理事長	安田 典子
連合岐阜西濃地域協議会	副議長	堀場 貴仁
公募委員		林 幸子
公募委員		平野 幸子

(2)欠席委員：2名（敬称略）

所 属	職 名	氏 名
大垣市民生・児童委員協議会	主任児童委員会会長	古川 政子
大垣商工会議所	専務理事	成瀬 重雄

(3)事務局：6名

- 加藤 悦子（子育て支援部長）
- 林 幹雄（子育て支援課長）
- 木村 あけみ（子育て支援課対策官）
- 鈴木 裕子（子育て支援課対策官）
- 佐竹 裕樹（子育て支援課庶務係長）
- 吉安 正和（子育て支援課企画庶務係）

(4)その他参加者：1名

- 井川 俊二（㈱エディケーション：計画策定支援業務委託事業者）

(5)傍聴者：なし

### 3. 議事

(1)市長あいさつ

(2)委員委嘱

(3)委員及び事務局の紹介

(4)委員会趣旨説明（事務局）

(5)議題

①委員長及び副委員長の選出

- ・委員長に竹内委員、副委員長に矢田貝委員を選任
- ・委員長、副委員長就任あいさつ

- ・定足数：委員会設置要綱第6条第3項の規定により、委員の出席が過半数に達しているため委員会を進行。
- ・傍聴希望者なし

## ②大垣市子育て基本条例（仮称）について

事務局：資料説明

資料3 大垣市子育て基本条例（仮称）について

資料4 （仮称）大垣市子育て基本条例について

資料5 「（仮称）大垣市子育て基本条例について」に関する質問等

委員：企業の役割は明確にしていかないのか。

事務局：企業の役割は大きいので、どのような形で出せるのか検討したい。

委員：次世代法は、10年の時限立法だが、条例はどれくらいの期間を想定しているのか。

事務局：時限的なものとは考えていない。

委員長：子育て日本一は、条例に盛り込んでいくのか。

事務局：盛り込んでいきたいと思っている。

委員長：どの部分で日本一か、実現可能な目標設定に知恵をしばっていかなければいけないと思う。

## ③ニーズ調査の結果について

事務局：資料説明

資料6 ニーズ調査結果から見るニーズ・課題

資料7 「ニーズ調査結果から見るニーズ・課題」に関する質問等

委員：保育料軽減はどのように考えているのか。

事務局：平成24年を目途に軽減率を35%まで上げようというのが現在の目標。

委員：幼稚園就園奨励費については国の基準に全く届いていない。

事務局：今後検討していきたい。

委員長：ニーズ調査はどれくらい参考にされていくのか。

事務局：どの程度取り入れていくのか計画づくりの中で具体的に考えていき

たい。

委員長： いろいろなニーズが出てくるが、調査の結果を一つの参考としながらも、委員会として独自に考えていかななくてはならないと思う。

委員： ニーズに表れてくるのは多数派の意見であるが、特殊な例についても気遣いができるような計画が盛り込めたらと思う。

委員： 計画の策定にあたってはセーフティーネット的なことを忘れずに、ニーズ調査の中から読みとって盛り込んでいかなければならない。

委員： 調査を行うと莫大なニーズが出てくるので、優先順位が何かということを読み手によって大きく変わってしまう。行政として行いたいことに引っぱられて、ニーズの本当の優先順位と合致しているのかというのが疑問。

委員長： ニーズ調査については一つの参考として進めていくということで、後期行動計画の中で必要なことがあれば、その都度できる範囲で意見を取り寄せることを考えながら進めていければと思う。

事務局： 資料説明

資料8 その他質問等

委員： 子育て日本一と言うからには、数値的にどこにも負けないことを何か出せないか。

委員： 介護保険のシステムを確立したことで、女性が働きに出掛け、社会的な能力を発揮できる状況になった。子どもに関しても、そのようなシステムができるといいのではないか。

委員： 親のニーズばかりが考えられており、子どもの立場に立った視点が欠けているような気がする。本当に必要なのは子どもに対する支援なのではないか。

委員： 子育てサロンや交流プラザなどいろいろなサービス、制度を今後も伸ばしていただきたい。また、多くの方にそのような情報提供をしていただきたい。

委員： 回答に至った経緯を明確にさせていただけると、市が考えていることもわかり、協働していけると思う。

委員： 子育てに関するチラシなど、もっと目につきやすい場所で提供され

ると、さらに活用されるのではないかと思った。

委員： ワーク・ライフ・バランスがかなり重要と感じる。ワーク・ライフ・バランスの取り組みによって、会社にとってもプラスになるような工夫が必要ではないかと思う。

委員： 子どもの育ちという点から、0歳から18歳までを対象に考えていたが、ニーズ調査は未就学や低学年に限られている。条例や計画の作成には、もう少し視野を広げ、何に絞っていくのかを、今の枠組みを外して考えてみる必要があると思った。

委員： ニーズ調査の自由意見の中に、保育料を無料にしてほしいという意見もたくさんあり驚いた。

委員： 今、学校や社会で起きているいろいろな問題を掘り下げていくと、幼稚園児ぐらいまでの子どもたちへの愛情の注ぎ方が違うのが一つの要因ではないかと思う。自分の家庭や地域がどのようにしていけばよいのかということ、それぞれが真剣に考えて子育てをしていかなければいけない時代がきたと思った。

委員長： 今後、委員の皆さんのお知恵を拝借しながら、説得力のある条例案や後期計画をわかりやすい形につくっていく努力をしていきたい。少なくとも子育て日本一という言葉に、具体性や方向性を感じさせるような内容になることが望ましいと考えるので、そうした方向で努力したい。

#### ④今後の予定について

- ・ 第2回委員会 平成21年9月30日（水） 13：30～15：30  
議題 前期計画評価、後期計画概要など
- ・ 第3回委員会 平成21年10月26日（月） 13：30～15：30  
議題 基本条例（案）、後期計画（案）など